

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [竹原市立忠海学園] 担当教諭名 [河野 洋一・川成 由佳] (8年1組 28名)

相手国・地域 [インド]

海外学校名 [Christ Nagar Secondary School] 担当教諭名 [Thomas Mani]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
		総合的な学習の時間	アートマイルプロジェクト

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	友好・平和・未来
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックにより生活、経済、教育に与えた影響を分析し、新しい生活スタイルを世界の人々と構築する。 その過程の中で、未来を創る一旦を担う使命感を持つ。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 国際社会を構成する一員としての自覚がもてた。 積極的にコミュニケーションをとる姿勢が身についた。 世界規模の問題として、原因や課題、解決策を考えることができ、自らの価値観にも大きな影響を与えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語力に個人差があり円滑なコミュニケーションがとれなかった。 フォーラムやグーグルミートを使ったやりとりが基本であったが、時差の影響やお互いの認識不足などで計画通りできないことがあった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 日常のニュースでインドを含めた、海外のことを気にするようになった。 共に作業することで、心の距離も縮まった。 実際に英語を使わざるを得ない場面を多数経験する中で、普段の英語の授業も意欲的に取り組むようになった。また、より実践的な場面を想起しながら授業に向き合うようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> まずはやってみるという積極性が持てた。 国や文化、言語が違っても、同じ教師として子どもを育てるという観点は同じであることを共有することができ、教師という仕事のやりがいを再確認することができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	インドについて知る 自己紹介動画作成	初めての取り組みで戸惑う生徒もいたが、動画作成など意欲的に取り組み、何度も試行錯誤していた。また、今後のプロジェクトに対して大きな期待をよせていた。	総合5
共有 テーマ学習	6月 7月	自分の地域の課題を調べる	知っているようで、知らないことがたくさんあることに驚いた。また、課題に対して原因と解決策をセットで考えていた。	総合10
融合 メッセージ作成	7月 ～ 10月	新型コロナウイルスが生活や経済に与えた影響を調べる	感染そのものよりも、感染によりもたらされる二次的・三次的影響を知ることができ、物事を深く考えることができた。一方で、自分たちが調べたことを伝える難しさも実感した。	総合25
創造 壁画制作	10月 11月	壁画のデザイン案の考案 下書き 色塗り	壁画のデザインを決定するにあたって様々な意見をまとめ、これまでのプロジェクトで学んだことを形にする難しさを感じていたが、全員が前向きに取り組む全員の想いを形にすることができた。	総合25
評価 振り返り 自己評価	2月	壁画の鑑賞 振り返り	インドからの壁画のメッセージをくみとったり、感性の違いを楽しんでいた。	総合5

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	パワーポイントを作成し校内の文化祭で発表した。その過程でインドだけではなく諸外国のことも副テーマ的に調べていた。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	3	テーマ探求の学習の中で多角的に考えている場面が見受けられた。
主体的に考え行動する力	4	動画作成やパワーポイントの作成など、主体的に創意工夫する場面があった。
多様な他者と対話・協働する力 （海外の相手と対話・協働）	4	相手国の中学生とオンラインミーティングを重ねる中で、少しずつ意思疎通が円滑になり協働学習の質があがった。
想いを言葉や形にする力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	様々な想いを1つにまとめるのは難しかったが、最終的には複合的な想いを1つに表現することができた。